

入間市長賞

私たちの生活を支えている税金

藤沢中学校 三年 藤枝 詩侑

二月二十七日之夜、家でニュースを見ていると、コロナウイルス感染症予防のため、三月二日から春休みまで公立学校が臨時休校になると知った。突然のことで、全く実感がなかったが、翌日学校に行くと、先生からも休校の連絡があり、ばたばたと荷物を持ち帰ることになった。春休みに入り数日の登校があったが、その後も更に休校が続く連絡を聞いたときはとても悲しかった。今までこんなにも長い期間、学校がなかった経験はなかった。これまでは、毎日学校に登校して、友達と一緒に教室で授業を受けたり、実験をしたり、校庭で遊んだりできることは自分にとっては当たり前前の日常だった。長い休校で、この当たり前のことがいかにありがたいことだったのかを実感した。六月に、学校が再開して、久しぶりに自分の教室の机を見た。とても懐かしく、貴重なものに思えた。ふと、誰がこの机や教室を無償で提供してくれているのだろうかと思った。調べてみると、公立学校の教室や机や椅子、その他の備品なども、多くの物が税金でまかなわれていることが分かった。そういえば、休校中に保護者が呼ばれて取りに行った教科書も無償だったが、教材も税金で提供されていたのだ。また、夏の猛暑の中、学校の教室にエアコンがあるのは本当に嬉しいが、それも税金が使われていたのだと知った。

昨年十月に消費税が上がり、正直、税金に対して良い印象がなかった。それは自分が受けている恩恵を意識していなかったからだと思う。その時、以前に祖母が言っていた言葉を思い出した。祖母は定期的に病院に通っているが、治療費がかなり安くすむので本当にありがたいらしい。それも税金のお蔭だった。コロナウイルス感染症予防のための休業要請で生活が苦しくなってしまった家庭も多く、日本では特別定額給付金の措置があった。ちなみにニュージーランドでは、休業要請をした場合に貸金の八割が保証されるのとことだ。国によって違いはあるが、不測の事態に対応しなくてはならない時にも税金は有効に活用されているのだ。

今までに経験したことのない長い休校で、自分にとって普通の生活がどれほどありがたいものだったのかを実感し、その生活には税金が大きく関わっていたということを知った。

これからも、世界では未知の感染症の可能性があり、また、日本は少子高齢化など様々な問題も抱えている。将来、国が自分たちの生活を守ってくれる上で、税金は、とても重要なものである。実際、以前の自分のように、そのようなことを考えずに生活している人も多いが、税金を通して、国民ひとりひとりが協力し合って国を支えているのだという意識を持つことが大切なのだと思うようになった。

これを機に、自分もこれからは、国民の一人である意識を忘れず、税に対しての知識を深めていきたい。